令和２年-第２号

明石市議会議員　井藤圭順 レポート

人づくりのまち 明石をめざして

グリーンスローモビリティの実証調査について

高齢者や障碍者などの買い物難民に対応した取り組みとして、生活関連施設や最寄りのバス停までを結ぶ小型電気自動車『グリーンスローモビリティ』の実証調査を国土交通省の支援を受けながら社会実験を実施しました。今回の社会実験で対象となった地区は住宅地内の道路が狭くタコバスを走らせることができない、東朝霧丘と朝霧山手町周辺といたしました。

調 査 概 要

調査期間	令和元年 10 月 30 日～11 月 22 日
運行主体	明石市(国土交通省の支援)
運行管理者の統括	社会福祉法人 明石市社会福祉協議会
運行管理者(運転手協力)	社会福祉法人 明石恵泉福祉会
運行車両	7 人乗り電動カート
運賃	無　　料
運行ルート・ダイヤ	東朝霧丘・朝霧山手町　10 時～15 時 1 本／時

市としては誰にでも利用していただける方針ではありますが、お年寄りの方を優先的に利用してもらうことを目的としています。今回は利用者に対してアンケートの協力をお願いしたので、その結果を踏まえて今後の施策への検討課題とさせていただきました。

【グリーンスローモビリティとは】

電動かつ時速 20 ㎞未満で公道を走る事が可能な 4 人乗り以上の乗り物であり、高齢化が進む地域での地域内交通の確保や、観光資源となるような新たな低炭素型モビリティとして国土交通省が主体となって普及の推進を行っています。

平成 30 年度より全国的に実施調査が取り組まれており、国を挙げてシンポジウムを開催し温室効果ガス排出ゼロに向けたパリ協定の実現にむけて、今まさに世界規模で取り組まれている事業です。

【運行の様子】

東朝霧丘方面	Aルート 約16分	メガネの愛眼～クスノキ公園～ケヤキ公園～メゾンドール～中朝霧丘～メガネの愛眼

①メガネの愛眼出発時間	1便	2便	3便	4便	5便
	10:00	11:00	12:00	14:00	15:00

朝霧山手町方面	Bルート 約10分	メガネの愛眼～朝霧山手町南～朝霧山手公園～朝霧山手町北～朝霧山手町南～メガネの愛眼

①メガネの愛眼出発時間	1便	2便	3便	4便	5便
	10:20	11:20	12:20	14:20	15:20

実施調査結果

利用者数	延べ 360 人(A ルート 266 人、B ルート 94 人)　実利用者数 168 人

【アンケート評価】

・思っていたよりも快適で乗り心地もよい	・乗車定員が少ない
・乗務員が親切、今後の高齢社会に素晴らしい	・冷暖房が必要
・事故が怖い	・空席状況を事前に知りたい

【管理者の評価】

・坂道の多い地域では効果があると考えられる	・ブレーキ時の衝撃がある
・利用者同士の車内外での会話など地域コミュニティの活性化につながっていた	・雨天時や防寒時のシートを下すと視界が悪くなるため車両改良の必要性がある
・エアコンがないため利用者の体調に不安がある	・ハザードランプ、パワステがない

今後の展開について(明石市)

今回の社会実験を通して多くの課題が見えてきたため、<u>引き続き試験運行を実施</u>し課題解決やデータ収集を行い、導入の可能性について検討を行います。当事業は「明石市総合交通計画」にも位置づけ、いつまでもすべての人にやさしいまちにつながる交通体系を構築できるよう進めていきます。

井藤圭順の評価

今回の社会実験は市民に対しての周知について案内が不十分だったと感じました。事前にテレビ・ネット・広告・回覧など活用し、<u>たくさんの方に社会実験に協力</u>してもらえるよう次に活かしてまいります。また、バス停が張り紙だけの簡素なものであったことなど、今回は準備の面で万全といえる状態ではなかったことを踏まえ、次回への反省材料といたします。